

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 扶桑町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考		
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価					今後の展開・改善点等	
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足		目標①	目標②
巡回・窓口相談指導事業	一般的に経営基盤の弱い小規模零細企業を中心に経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問し融資等の金融相談・申告時期の税務相談・労務相談等経営全般について様々な相談への指導をすることにより経営及び技術の改善を図り、健全な企業を育成するとともに、創業予定者を始めとした経営全般に係る相談窓口の設置により、経営改善に資する指導を行う。	・巡回窓口指導実企業数315社 ・巡回窓口指導延件数719件 ・課題解決提案件数19件 ・経営力向上計画4件 ・事業継続力強化計画5件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 102.7 %)	指標 課題解決提案件数 (達成度 95.0 %)	巡回窓口相談及び課題解決提案について、概ね当初計画の数値となり、小規模事業者の経営支援に資する取組を実施することができた。また、経営力向上計画や事業継続力強化計画などの経営を発展させる支援を実施することができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 現行どおり	翌年度、育児休暇の取得による職員数の減少を鑑み、来年度目標件数を変更する。	○		
記帳継続指導事業	商工会の職員が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自動化や計数管理による経営力向上に結び付ける。	・指導対象者数45人 ・指導延日数284日 ・指導延回数541回	創業者	指標 記帳指導事業者数 (達成度 100.0 %)	指標 (達成度 %)	記帳機械化事業者の記帳能力向上を図り、税務知識向上を図ることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 現行どおり	今後も事業者との継続的な記帳機械化支援を通じて、税務面から経営力の強化を図る。			
講習会開催事業	労働・税務を中心に経営において正しい知識・能力の向上を図る機会を提供するとともに、事業者を取り巻く経営環境、社会環境の変化に対応してもらうべく、新たな知識を習得する場所を提供する。	講習会開催数及び受講予定者数 ・個別講習会 8回 82人	小規模事業者	指標 個別指導会参加者数 (達成度 63.1 %)	指標 (達成度 %)	講習会事業を実施することにより、労働・税務に関する具体的な支援を実施することができた。また、講習会を通して、経営に関する知識などの情報提供を行うことができた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 事業者への 必要性 B	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法②	引き続き、小規模事業者からのニーズが高い税務・労務を中心とした内容の講習会を現行通り実施していく。			
雇用促進事業	若年者を中心とした求職者に、自己の適正や就業経験等に応じた職業選択並びに就職に関する知識や能力の向上を図る機会を提供するとともに、地元企業の紹介と各企業の人材確保をサポートするため、3月に大口町と扶桑町の2町の行政・商工会が主体となって企業合同説明会を開催する。イベントにあわせて求職者を対象に就職に関する個人相談、職業適性診断等の事業を実施し、求職活動者の職業人生設計やキャリア形成を支援する。また、9月に行政・商工会と名古屋経済大学と連携して、大学生の地元企業への理解の促進とマッチング機会の創出のため、キャリア教育支援事業（インターシップ事業）を開催する。	・大口町・扶桑町合同就職フェア 時期 3月19日（木） 場所 扶桑町中央公民館 フェア参加者数43人、参加事業者数24社 ・キャリア教育支援事業 時期 9月9日（火）～12日（金） 参加学生数延べ12名 参加事業者数4社	求職者	指標 セミナー参加者延人数 (達成度 74.3 %)	指標 参加延事業者数 (達成度 73.7 %)	大口町・扶桑町合同就職フェアについて、参加者・参加事業者数ともに目標値をクリアすることができなかったが、初の試みとして3月に開催したことで、大学生の参加者が増加したことに大きな手応えを感じた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 事業者への 必要性 B	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 下げる	キャリア教育支援事業については、行政担当者との話し合いにより、参加学生数、参加事業者数ともに引き下げることをする。しかしながら、就職フェアについては、人手不足・売り手市場の状況が続いており、中小・零細を問わず全事業者からのニーズが高い事業のため、引き続き現行通り実施していく。	○		
共同販売促進事業	地域商業・サービスの核であるイオン扶桑店と連携を図り、共同で地域特産品販売事業を展開することにより、広く消費者を集めて、消費の喚起を図り、事業者の販売について面的な広がりを支援する。	・イオンモール扶桑店物産展事業 時期 7月11日（金）～13日（日） 参加事業者数12社	イオン扶桑店、会員企業及び地域の消費者	指標 物産展参加事業者数 (達成度 120.0 %)	指標 (達成度 %)	イオン扶桑店、犬山市との連携による共同開催により、商圏消費者の購買意欲の喚起を図ることができた。また、参加店舗について、当会創業塾修了事業者が7店舗あり、特にそれら事業者の販路拡大・開拓において効果的な支援を図ることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 必要性 B	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	地域最大的大型店との連携と地域小規模事業者の販路開拓の機会を図る上で大変重要かつニーズの高い事業であるため、引き続き現行通り実施していく。			

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 扶桑町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考			
				目標①			目標②			得られた効果			A B C D評価							
				指標	実績数値	達成率	指標	実績数値	達成率	総合評価	実施評価	調査結果	満足度	必要性	補足			目標①	目標②	
IT促進事業	情報通信技術を活用して、会員企業にとって有益な経営情報を発信したり、ビジネスチャンスの拡大や、経営の質を高めるための取り組みを実施し、商工業の活性化に寄与する。また、外部に対して商工会の活動内容を発信することで、商工会のPR活動を行う。	・ホームページによる情報発信 内容 扶桑町商工会の事業紹介やイベント情報を定期的に発信 実績 ホームページ訪問数73,481件 ・Facebookによる情報発信 内容 扶桑町商工会のイベントなど情報などを随時発信 実績 Facebookリーチ数5,769件	会員企業及びホームページ閲覧者	指標 ホームページアクセス数 (達成度 163.3%)	実績数値 73481	達成率 (%)	指標 Facebookへのリーチ数 (達成度 192.3%)	実績数値 5769	達成率 (%)	SNSやホームページを通じて、中小・小規模事業者への情報提供を行ったことにより、紙面による告知よりもタイムリーな情報を届けることができた。	総合評価 A	実施評価 A	調査結果 A	満足度 A	必要性 B	補足 充足	目標① 上げる	目標② 上げる	来年度も定期的な発信を行うことにより、事業者への素早い情報提供を実施する。	
産業団体指導事業	柏森発展会・扶桑発展会の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展の一助となり、ひいては扶桑町内の商業の活性化に資することを目的とする。	・発展会支援事業 内容 季節ごとに行う販売促進イベントの支援、空店舗対策 実績 柏森発展会員数51名、扶桑発展会員数76名	柏森発展会・扶桑発展会	指標 柏森発展会会員数 (達成度 85.0%)	実績数値 51	達成率 (%)	指標 扶桑発展会会員数 (達成度 84.4%)	実績数値 76	達成率 (%)	季節ごとに行う販売促進イベント等を支援することにより、地域経済の活性化を促すことができた。	総合評価 B	実施評価 B	調査結果 B	満足度 A	必要性 B	補足 充足	目標① 現行どおり	目標② 下げる	高齢化により、地域商店街事業者の廃業が著しいため、翌年度目標を変更する。	
税務関連団体指導事業	小牧法人会扶桑支部の税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、適切な納税を推進するとともに、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展の一助となる。	・税務関連団体支援事業 内容 改正税法研修会 時期 9/16(火) 場所 扶桑町商工会館 ・税金クイズ 時期 11/15(土) 場所 (社福)ふそう福祉会 実績 小牧法人会扶桑支部会員数177名	小牧法人会扶桑支部	指標 小牧法人会扶桑支部会員数 (達成度 98.3%)	実績数値 177	達成率 (%)	指標 小牧法人会扶桑支部会員数 (達成度 %)	実績数値	達成率 (%)	地域内の法人事業者が加入する小牧法人会扶桑支部の支援を通じて、納税に対する啓蒙活動を行うことができた。	総合評価 A	実施評価 A	調査結果 A	満足度 A	必要性 A	補足 充足	目標① 現行どおり	目標②	小牧法人会扶桑支部の会員と協力し、他団体に加入している法人をターゲットに加入勧奨を行う。	
創業支援事業	新規創業者は、創業に伴う、知識・経験などが不足しているようなケースも多くみられる。そのような創業者の創業計画の策定支援や資金計画支援などの事業の立ち上げに伴う支援はもとより、創業後、事業が軌道に乗るまでに廃業してしまう状況があることを踏まえて、創業者に寄り添った形でバックアップできるような支援体制を整える。	・2市2町（江南・岩倉・大ロ・扶桑）創業支援セミナー 時期 1月31日(土) 場所 扶桑町商工会館 セミナー参加者13名 ・西尾張創業塾（いちい信用金庫との共催） 時期 1月31(土)～2月28日(土) 毎週(土)全5回 場所 いちい信用金庫ホール 塾参加者21名 ・創業ハンズオン支援 時期 随時 場所 商工会窓口・事業所 創業相談件数5件 内1件創業	小規模事業者	指標 創業セミナー参加者数 (達成度 113.3%)	実績数値 34	達成率 (%)	指標 新規創業者数 (達成度 33.3%)	実績数値 1	達成率 (%)	創業支援セミナー・西尾張創業塾・創業ハンズオン支援で、地域の創業予定者に対して基本的な経営知識・情報を提供することができた。	総合評価 B	実施評価 B	調査結果 C	満足度 A	必要性 B	補足 充足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	目標値・実施方法は現行通りとし、引き続き新規創業者が事業者として軌道に乗れるよう支援を行っていく。	○
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定を図るために、各種共済制度の普及等、企業の健全な育成に資することを目的とする。	・共済促進事業 内容 小規模企業共済加入者98名、セーフティ共済加入者9名、中小企業退職金共済加入者2名、特定退職金共済加入者35名、中小企業共済314名、計458名	会員企業の事業主及び従業員	指標 各種共済加入者延人数 (達成度 130.9%)	実績数値 458	達成率 (%)	指標 各種共済加入者延人数 (達成度 %)	実績数値	達成率 (%)	事業者及び従業員の予期せぬ事態に備えた保証を提供する役割を担うことで、加入事業者の経営力強化に資することができた。	総合評価 A	実施評価 A	調査結果 A	満足度 A	必要性 A	補足 充足	目標① 上げる	目標②	2月、3月の税務申告期において、事業者の所得内容に適した共済加入促進を行っていく。	
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続を行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	・労働保険事務代行事業 労働保険料の申告納付と各種届出等の事務手続の代行 労働保険事務組合委託事業所24企業	労働保険事務組合員	指標 事務組合委託事業者数 (達成度 96.0%)	実績数値 24	達成率 (%)	指標 事務組合委託事業者数 (達成度 %)	実績数値	達成率 (%)	労働行政と協力をしながら雇用保険・労災保険の事務を代行することにより、社会保険事務の適正化と普及に寄与しつつ、労働環境の整備を図ることができた。	総合評価 A	実施評価 A	調査結果 A	満足度 A	必要性 B	補足 充足	目標① 現行どおり	目標②	巡回・窓口相談において労働保険の加入勧奨・周知を強化し、目標・実施方法ともに現行通りとする。	

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 扶桑町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考								
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価													
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足			目標①	目標②						
青年・女性部事業	青年部・女性部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	・青年部事業 内容 視察研修をはじめ、地域イベントへの参加実績 青年部部員数19名 ・女性部事業 内容 視察研修をはじめ、セミナーの開催、地域イベントへの参加 女性部部員数45名	青年部員及び女性部員	指標	青年部部員数 (達成度 95.0 %)			指標	女性部部員数 (達成度 100.0 %)			事業後継者や共同経営者としての資質向上を図るため、研修活動や地域貢献を中心とした活動を実施していく。	総合評価	B	事業実施評価	B	自己評価	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	青年部については、本年度目標を堅持する。女性部については、視察研修のみならず、一昨年から実施しているにおけるイベントを継続する予定である。	一部○
セミナー事業	経営発達支援計画にもとづき、参加企業の経営発展に資する内容のセミナー事業を実施する。事業計画策定に繋げる刺激策を充実させることにより、経営計画の策定事業者のバイを増やしていく。	・セミナー事業実績 「小規模事業者持続化補助金活用セミナー」 4/28 参加者：8名 「経営計画策定個別相談会」 5/15 参加者：3名 「ECサイト運営のリスク管理と最新対策セミナー」 5/28 参加者：12名 「経営計画策定個別相談会」 10/22 参加者：2名 「事業承継基本セミナー」 12/15 参加者：6名	会員企業の事業主及び従業員	指標	参加者延人数 (達成度 64.6 %)			指標	参加者延人数 (達成度 %)			補助金活用セミナーやECサイト運営リスク管理など今日的なテーマの講習会を実施するとともに、事業者が策定した経営計画を個々に指導する個別指導会を実施した。	総合評価	B	事業実施評価	B	自己評価	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	来年度も継続して、事業計画策定に資するセミナー事業を開催する。	
女性向実践型創業セミナー事業	経営発達支援計画にもとづき、創業者に必要な知識の提供から実際の運営までをサポートする。1か月程度座学のセミナーを実施した後、イオンモール扶桑において創業実習を行う。	・女性向実践型創業セミナー 時期 9月3日(水)～10月1日(水) 毎週(水)全5回 場所 商工会：座学セミナー・イオンモール扶桑：実習 創業セミナー参加者11名	女性創業者・創業希望者	指標	参加者人数 (達成度 110.0 %)			指標	参加者人数 (達成度 %)			セミナー・チャレンジショップを通して、創業のインキュベーション機能としての役割を果たすことができたことに加えて、地域内における女性創業者・創業予定者の掘り起こしを図ることができた。	総合評価	A	事業実施評価	A	自己評価	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	きめ細かい支援を行うため、定員(10名)を決めて、実施したいので、目標数値・実施方法は現行通りを行う。	○
展示会出展事業（一部国補助金を活用予定）	経営発達支援計画にもと、扶桑町内における製造業を中心に技術力や商品力のPRの機会として展示会への出展をおこなうことで、販路の拡大を支援する。	・展示会出展事業 内容 メッセナゴヤ2025への出展 時期 令和7年11月5日～11月7日 実績 参加企業数4社	中小事業者	指標	参加企業数 (達成度 100.0 %)			指標	参加企業数 (達成度 %)			経営発達支援計画に沿った形で、地域内において地域資源を有効に活用している事業者や独自の技術を持つ事業者を支援した。参加企業にとっては受注機会の拡大につながった。	総合評価	A	事業実施評価	A	自己評価	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	来年度も引き続き4社の参加企業を募集し、11月の展示会へ出展を実施する。	○
若手後継者等育成事業	地域の小規模事業者において、事業の継続・発展には次期経営者となる若手後継者の資質向上が必要不可欠である。本年度は、青年部員を中心とした若手経営者・後継者の資質向上を図るテーマのセミナーを3日開催する。	・青年部資質向上セミナー 内容 青年部を中心とした若手経営者・後継者に必要な資質向上を図るテーマでのセミナーを開催 時期 令和7年8月～10月 全3回 実績 参加者延人数31名 参加満足者延人数30名	若手後継者	指標	セミナー参加者延人数 (達成度 103.3 %)			指標	セミナー参加満足者延人数 (達成度 125.0 %)			事業継続力強化計画策定セミナーを通じて、参加事業者がグループワークにて、お互いの会社を客観的に見つめ直すことで、事業継続に資する取り組みを具体的に話し合うことができた。	総合評価	A	事業実施評価	A	自己評価	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	翌年度も青年部員の資質向上に資する全3回のセミナーを開催する。	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。